

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 28 年度教育研究報告書

事業課題名	アジア経済発展論研究会
代表者名	三重野文晴（東南アジア地域研究研究所）
事業概要 (600 字程度)	<p>京都大学大内の各部局に分散している経済発展論・開発経済学・アジア経済研究系の研究者の研究交流の場として、当該分野の研究報告・討論をおこなう定期的研究報告セミナーを開催した。経済学研究科、東南アジア地域研究研究所、農学研究科を中心に多くの教員、研究者、大学院生が参加し、アジア経済と開発経済学の先端研究の現状の理解を深めた。8回のセミナーに17人の研究報告を実施し、学内の研究者・院生のアジア経済研究・経済発展論の分野の活性化をもたらした。招聘者のうち8人は世界的に著名な研究者を含む海外の研究者である。</p> <p>事業経費は、この学外報告者招聘のための旅費・宿泊費・日当・謝金として効果的に支出された。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>以下の8回の研究セミナーを開催し、17の研究報告が行われた。セミナーのうち3回は半日ないし一日を通したワークショップとして実施され、特に、12月にはチュラロンコン大学との国際研究集会を開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2017年3月27日(木) Mini Wotkshop II 報告者 Paul Clist (University of East Anglia), Stephan Litschig (政策研究大学院大学) 2. 2017年3月2日(木) Mini Wotkshop I 報告者, 高野久樹(京都大学), 島村靖治(神戸大学), 樋口裕城(名古屋市立大学), 神谷祐介(龍谷大学), Paul Saumik (一橋大学) Johann Caro-Burnett (広島大学) 3. 2017年2月23日(木) 金子勝規(大阪市立大学), "ASEAN Economic Community and Internationalization of Private Hospitals in Thailand" 4. 2017年2月16日(木) 小暮克夫(大阪大学), "Some Remarks on the Causal Inference for Historical Persistence" 5. 2016年12月3日(土) Joint Workshop with CSEAS&GSE, Kyoto University, and Faculty of Economics, Chulalongkorn University, 報告者 Piti Srisangnam, (Chulalongkorn U) ., Yalei ZHAI (Graduate School Student, Kyoto U). Go Yano (Kyoto U), Jessica Vechbanyongratana (Chulalongkorn U.) 6. 2016年7月19日(火), 黒崎卓 (一橋大学), 「零細企業家のリスク・時間・社会的選好: インド・デリーの伝統・近代セクター比較」 7. 2016年7月7日(木) Souknilanh Keola (Bangkok Research Center, IDE-JETRO), "Monitoring Development from Space: Application of Remote Sensing Data in Economics" 8. 2016年6月15日(水), Euston Quah (Nanyang Technological University), "Cost-benefit analysis: are principles the same for developing and developed countries" <p>昨年度に続き、京都大学を中心とするアジア経済研究のコミュニティーの形成に大きな成果があった。</p>

研究会 発表風景

